



# 玉一っ子通信

～失敗やトラブルを学びに変える教育～

＜☆ともだち大好き！☆学ぶの大好き！☆じぶん大好き！＞



令和5年1月24日

No. 20

文責：校長 酒井



## バトンが引き継がれます。ゆずり葉のように！

1月もあっという間に後半。先週は、**新鼓笛隊のオーディション**（前半の部）を実施しました。この日のオーディションは、指揮、トランペット、大・中・小太鼓、マーチングキーボード、対象は4・5年生。玉一小では全教員が審査に当たりますので、大勢の先生方を前に緊張感も高まり、普段とは別人のように硬い表情の子どもたちでした。

2学期中に係の先生から予告がありましたので、冬休みに練習を重ねてきた子もいて、なかなかレベルの高いオーディションとなりましたが、結果発表は、もうしばらく先になります。当日の演奏、演技はもちろん、**オーディションまでの取組やこれまでの実績も評価されます**。5年生は特に、新鼓笛隊のパートリーダーとなって、これからは自分のことだけでなく、下学年の子どもたちを教え導く役割が待っていますので、慎重に判断します。

実は練習に先駆けて係の先生から一つだけ注文がありました。それは、「**6年生にしっかり教わる**」というものです。玉一小の鼓笛隊は、譜面だけでは伝えきれないことが多く、細かなところは6年生に教わるのが伝統です。6年生から下の学年に、その下の学年が更に下の学年に…、と代々伝わってきた練習方法です。教えることも大事ですが、教わることも大切な活動と考えています。**6年生へのこれまでの感謝の気持ちを持って謙虚な心で教わる**、6年生は次年度の鼓笛隊を託して丁寧に教える。こういったやり取りが互いに相手を敬う気持ちを育て、関係を密にし、昨今の課題となっている、人間関係の希薄化を解消する手立ての一つにもなると考えています。また、鼓笛隊のオーディションに先じて、「**玉一みどりの少年団**」の引き継ぎ式も実施しています。

後2ヶ月の3学期ですが、河井酔茗の「ゆずり葉」のように、5年生へのバトンを引き渡した後に6年生はようやく卒業を迎える。そんな2ヶ月となりそうです。



＜〇年〇〇です。よろしくお願ひします。＞

### ゆずり葉

河井 酔茗

子供たちよ。  
これはゆずり葉の木です。  
このゆずり葉は  
新しい葉が出来ると  
入り代わって古い葉が落ちてしまうのです。

こんなに厚い葉  
こんなに大きい葉でも  
新しい葉が出来ると無造作に落ちる新しい  
葉にいのちをゆずって——。～後略～

## 2023年も、「歩く・食べる・寝る」が基本です！

「どうしたの、珍しいね？」

先週のことです。普段は決められた場所から歩いて登校する子が、その朝は珍しく校門前まで車で…。危ないから下で降ろしてもらおうよう伝え、理由を尋ねると、

「面倒だから、上まで行っちゃえて…」

玉一小の通学手段は、バスか徒歩、それ以外は特別の場合のみとしています。ここ数年、自宅やちよつと距離を長くして歩いて登校する子が増えています。新年になって寒さのためか、「今日くらいは…」との想いが重なってか、車での送り迎えが目立って来ました。玉一小では、何よりも安全の確保と規則正しい生活の習慣化を大切に考えています。今年も引き続き、ご家庭の協力を得ながら根気強く取り組んでいきたいと考えています。

子どもたちの未来のために、「歩く子・食べる子・寝る子」を目指します。



※校門付近での乗降は危険です。凍結も心配されますので禁止としています。